

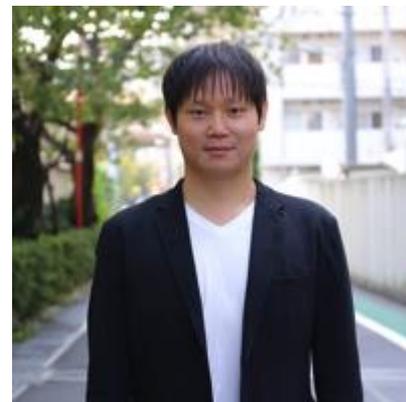
NPOマネジメントと問題解決



株式会社PubliCo 代表取締役COO

山元 圭太

NPO法人日本ファンドレイジング協会 理事/認定ファンドレイザー
NPO法人国際協力NGOセンター(JANIC) 理事
NPO法人おっちラボ 理事
島根県雲南市 地方創生総合戦略推進アドバイザー



大学時代



コンサルタント



かものはしプロジェクト

1982年滋賀県生まれ 同志社大学商学部卒。
卒業後、経営コンサルティングファームで経営コンサルタントとして、5年間勤務の後、
2009年4月にNPO法人かものはしプロジェクトに入社。日本部門の事業全般(ファンド
レイジング・広報・経営管理)の統括を担当していた。
2011年よりNPOを中心に非営利組織に対する運営支援を行っている。

「社会を変える組織」をつくる



社会を変えるために活動している「公益組織」が
自分たちの足でしっかりと歩み、
社会的成果をきちんと生み出し続けられる
ほんとうの「社会を変える組織」になるために、
パブリコはともにあります。



コンサルティング事業



スクール事業（人材育成）



セミナー事業（講座・研修等）



メディア事業（情報発信、調査）

今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由

今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由



1. 少子高齢化

2. 多様性への対応

3. 他セクターとの協業

今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由

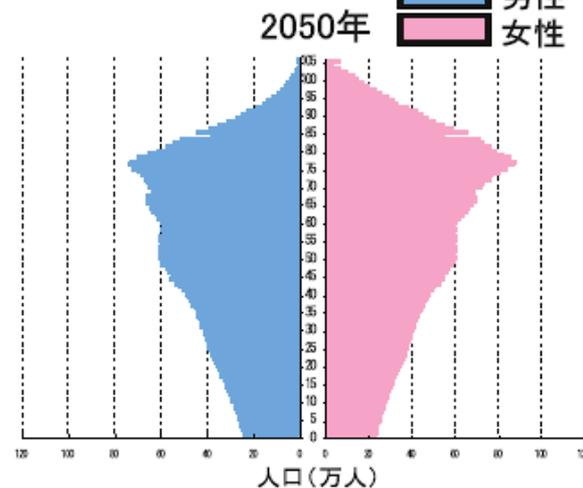
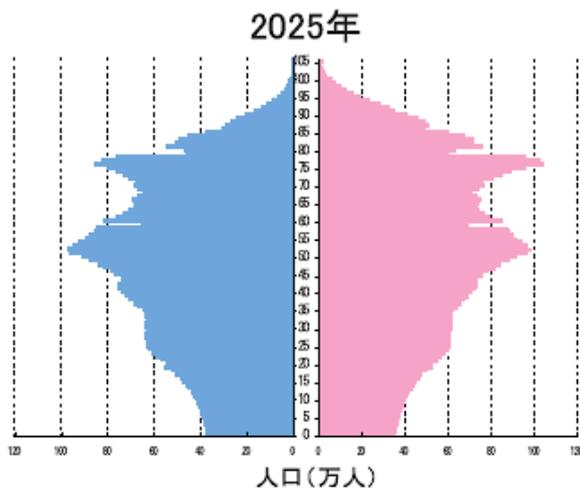
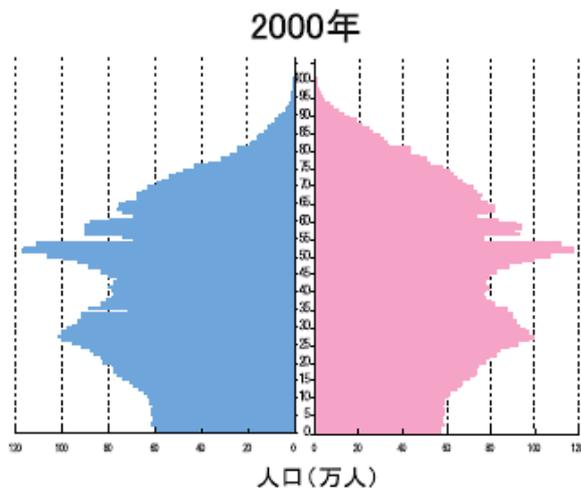


1. 少子高齢化

2. 多様性への対応

3. 他セクターとの協業

増える高齢者と減る生産人口



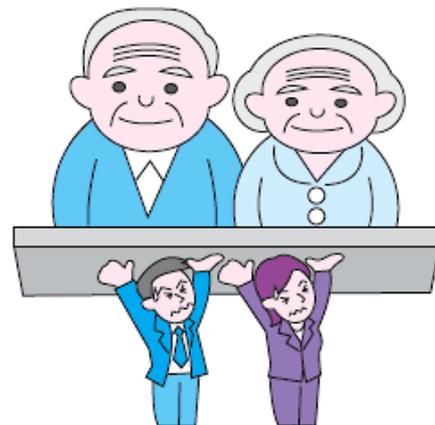
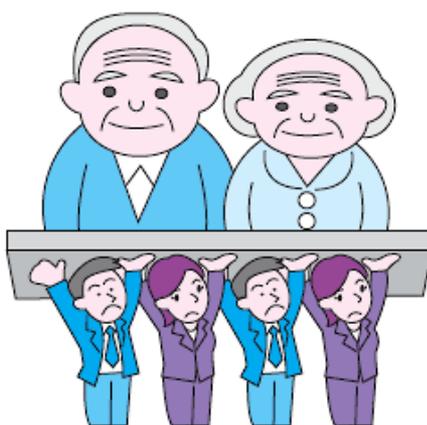
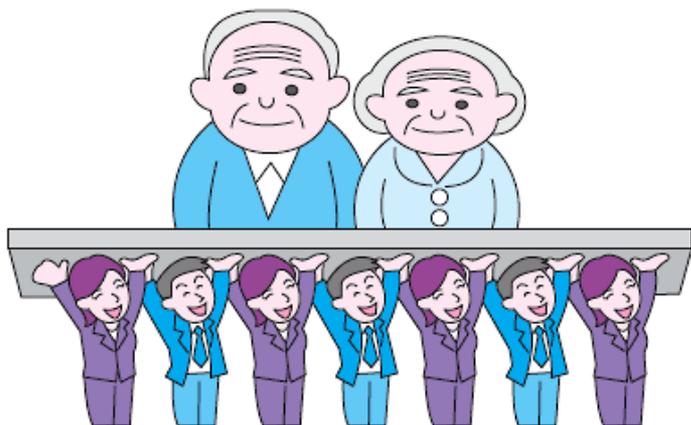
■ 男性
■ 女性

20~64歳人口の65歳以上人口に対する比率 (総人口)

3.6 (1億2,693万人)

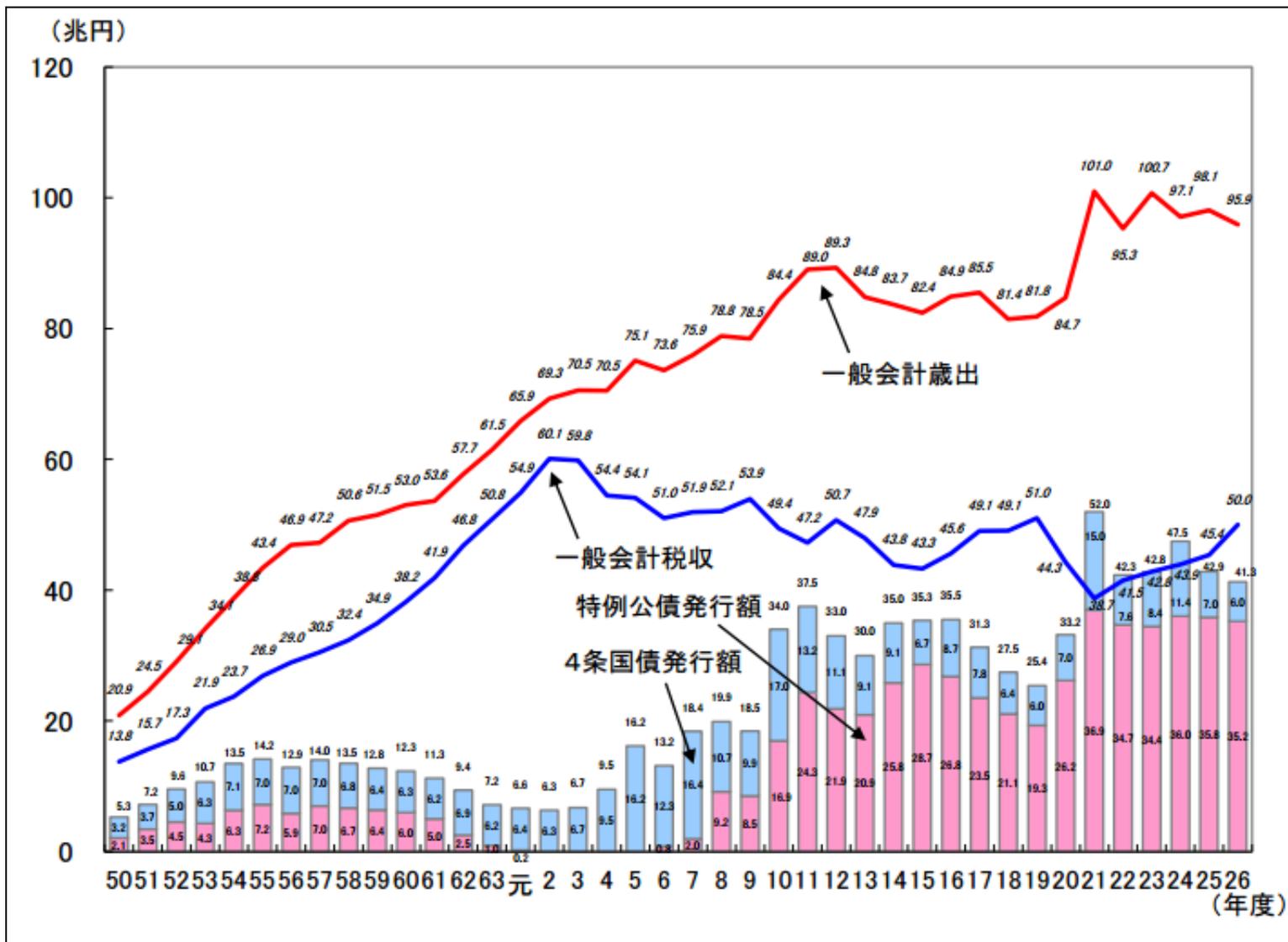
1.8 (1億1,927万人)

1.2 (9,515万人)



出典：財務省

増える歳出と減る税金



出典：財務省



少子高齢化が進む

税収が減る

歳出は増える

行政だけでは公的サービスが
維持できなくなる

今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由



1. 少子高齢化

2. 多様性への対応

3. 他セクターとの協業



LGBT

外国人

障がい者

ステップ・ファミリー

今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由



1. 少子高齢化

2. 多様性への対応

3. 他セクターとの協業



特定の社会課題に対して、
ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、
行政・企業・NPO・市民などがセクターを越え、
互いに強みやノウハウを持ち寄って、
同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、
課題解決や社会変革を目指すアプローチのことである。



※isolated impactとは
ひとつの組織が個別に社会課題の解決にあたるアプローチ。

事例：小学生の肥満減少の取り組み



アメリカマサチューセッツ州では、**小学生の肥満が社会課題**となっていた。

小学生の肥満を防ぎ解消するために、**学校・財団・大学・NPO・市民**などは、**小学生にヘルシー食品を提供することに合意**をした。

また、**民間**も協力し、小学生に低カロリーで高い栄養価の食品を提供したレストランには**証明書が付与**された。

そして、**市役所**は、**ファーマーズマーケット**を組織して、**市民が新鮮な野菜を購入**できるような環境を整備した。

この一連の取り組みでは、**課題解決のために社会インフラさえも変わった**。
子どもたちが学校まで歩くようにすることを後押しするために、**歩道が舗装**され、**横断歩道は塗り直し**が行われた。

その結果、一連の取り組みが行われたコミュニティの子どもたちの間で、**重大な病気が2002年から2005年の間で決定的に減少**した。

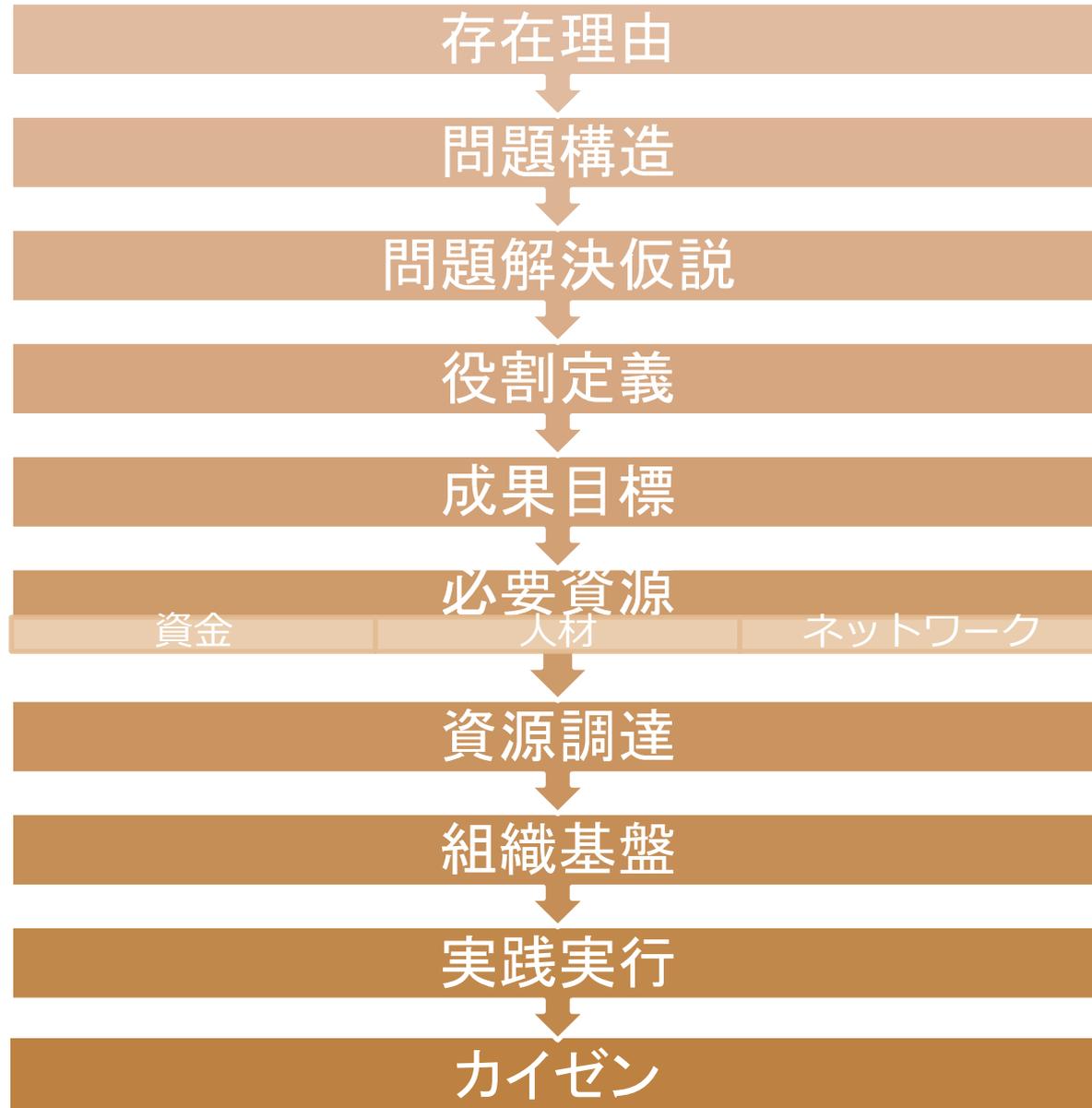
今、NPOに社会課題解決力が 求められる3つの理由



1. 少子高齢化

2. 多様性への対応

3. 他セクターとの協業





存在理由

(Mission)

何のために存在するのか？



問題構造

(Theory of Problem)

どんな問題構造になっているのか？



問題解決仮説

(Theory of Change)

どうすれば問題解決するのか？



役割定義

(Vision)

どんな役割を担うのか？



成果目標

(Key Performance Indicators)

どんな成果をどれだけ創出するのか？



必要資源

(Budget)

どんな資源がどれくらい必要なのか？



資源調達

(Fundraising)

どのようにして資源を調達するのか？



組織 基盤

(Organization)

どんな組織にするのか？



実践実行

(Action)

どう実行するのか？



カイゼン

(PDCA)

改善プロセスをどう仕組化するか？

NPO経営戦略



「社会を変える組織」をつくる



Publico